

# 【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2020年 4～6月期の景況 / 2020年 7～9月期の見通し

**宇部市内における中小企業の業況は、マイナスの影響が拡大している。**

## 今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATA参照)の景況動向等を把握するため、2020年4～6月期の実績と2020年7～9月期の予測を取りまとめた。本調査は3ヶ月ごとに年4回実施する予定。

全業種のDI値に見る前期から今期の業況は前回調査から▲12.8%の悪化となった。業種別では、製造業は▲61.1%から▲84.2%へ、小売業は▲29.4%から▲52.6%へと大幅に悪化、サービス業は▲35.7%から▲52.0%へ、建設業は▲19.2%から▲30.0%へと悪化している。卸売業のみ▲42.9%から▲38.1%へと僅かに回復しているが、全産業のDI値は調査開始以来、最低値を更新した。

来期の新規設備投資については、今期よりも5.3%減少する見込みとなった。

経営上の問題点については、建設業は16期連続で「従業員の確保難」が1位となった。なお、他の4業種(製造業は3期連続)では「需要の停滞」が1位を占めた。

## DI(ディフュージョン・インデックス)とは？

当調査のDIは、質問に対し「プラス」、「中立」、「マイナス」の3つの選択肢から「プラス」と回答した企業の割合から「マイナス」と回答した企業の割合を差し引いた値で、「変化の方向」を表します。

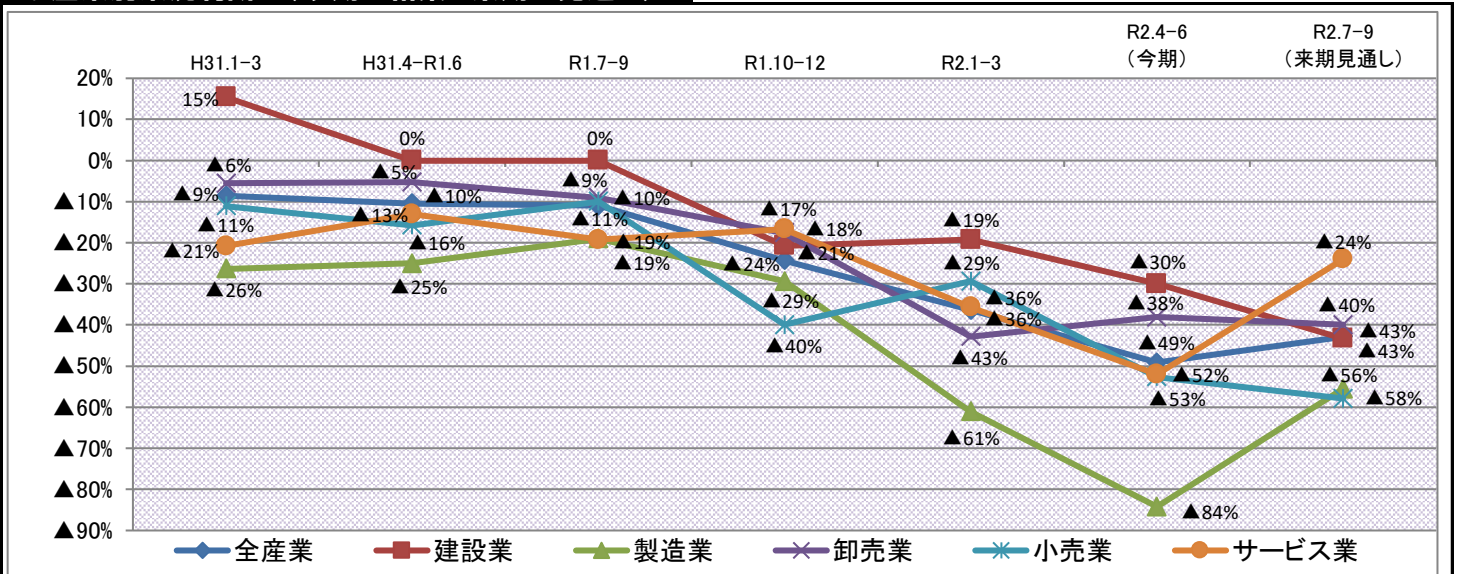
## DATA

- 調査期間: 2020年6月15日～6月25日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業137社
- 有効回答企業数: 118社(86.1%)

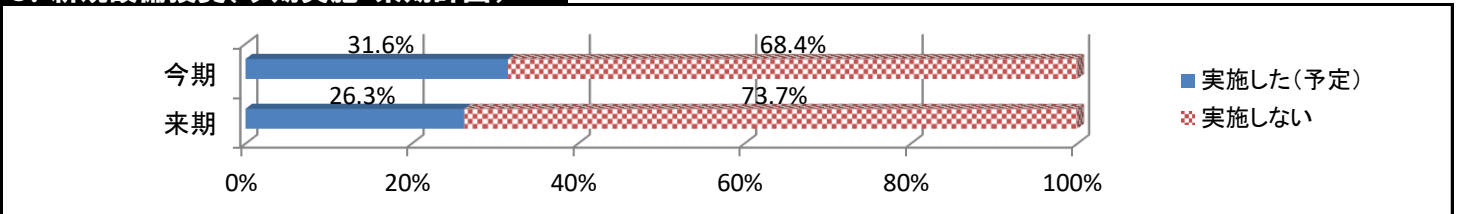
## 1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前回比	売上高	前回比	資金繰り	前回比	経常利益	前回比	従業員数	前回比
全産業	▲49.1%	▲12.8%	▲60.7%	▲27.4%	▲27.6%	▲12.1%	▲50.9%	▲20.0%	4.31%	17.95%
建設業	▲30.0%	▲10.8%	▲46.9%	▲23.8%	▲18.8%	▲11.1%	▲37.5%	▲18.3%	9.38%	32.45%
製造業	▲84.2%	▲23.1%	▲89.5%	▲42.1%	▲38.9%	▲16.7%	▲77.8%	▲27.8%	15.79%	15.79%
卸売業	▲38.1%	4.76%	▲61.9%	▲9.5%	▲14.3%	▲4.8%	▲38.1%	0.00%	0.00%	0.00%
小売業	▲52.6%	▲23.2%	▲65.0%	▲41.5%	▲30.0%	▲6.5%	▲60.0%	▲48.2%	▲10.5%	▲4.3%
サービス業	▲52.0%	▲16.3%	▲52.0%	▲27.0%	▲40.0%	▲22.1%	▲52.0%	▲16.3%	4.00%	32.57%

## 2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



## 3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



## 4. 経営上の問題点

	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
1位	従業員の確保難	18.2%	需要の停滞	24.1%	需要の停滞	25.0%	需要の停滞	22.2%	需要の停滞	24.1%
2位	熟練技術者の確保難	18.2%	製品ニーズの変化への対応	11.1%	従業員の確保難	21.4%	消費者ニーズの変化への対応	20.4%	利用者ニーズの変化への対応	22.4%
3位	民間需要の停滞	18.2%	生産設備の不足・老朽化	11.1%	販売単価の低下・上昇難	12.5%	店舗の狭隘・老朽化	7.4%	利用料金の低下・上昇難	8.6%
4位	官公需要の停滞	14.8%	人件費の増加	11.1%	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	7.1%	従業員の確保難	7.4%	従業員の確保難	8.6%